



▲納所小学校と東部小学校の児童。収穫した袋の中はビワがズッシリ。

初夏の特産物“ビワ”を収穫

小・中学生協働で体験学習

6月18日に納所の田渕厚さんのビワ園で、納所小学校と東部小学校の4年生以上の児童と、東部中学校の1年生が、4月に自分達で袋掛けしたビワの収穫を行いました。

身の軽い小学生達は次々に木によじ登って、とっては袋の中身のくらべっこ。この時とばかり味見に夢中な子も。

3か月前に小学校を卒業したばかりの中学生には、年下の児童の作業をやさしく補助する姿も見られました。



作業終了後に園主の田渕さんは「何事も根気が大切です。ビワも根気よく、丁寧に育てないといい実はありませんよ」と子どもたちに話されました。

小中学生が熱い思いを堂々とスピーチ

青少年育成市民大会と少年の主張発表会

6月21日、中央公民館で多久市青少年育成市民大会（多久市青少年育成市民会議主催）および第27回少年の主張発表会（多久ライオンズクラブ主催）が行われました。市民大会では、渋谷初寛さん（東多久町）、西山幸子さん（同）、桃崎久人さん（南多久町）、白仁田洋子さん（西多久町）の青少年育成功績を顕彰し、また、青少年の健全育成の更なる推進決意を大会宣言で採択しました。

続いて少年の主張発表会では市内の小学6年生10人と中学3年生6人がそれぞれの視点で熱い思いを発表。その中から、小学生の部で、円城寺穂花さん（緑が丘小・テーマ＝多久大好き）と富増弥希さん（北部小・テーマ＝大切な命）、中学生の部で古川大介さん（中央中・テーマ＝人間が泣いている）、泉あやのさん（西溪中・テーマ＝私を変えたジュニアガイド体験）が優秀賞に選ばれました。



▲優秀賞に輝いた円城寺穂花さん（前列右）、富増弥希さん（前列左）、古川大輔さん（後列右）、泉あやのさん（後列左）

大人もチョットやってみたいな

どろんこ運動会

6月21日に南多久公民館横の田んぼで、多久スポーツピア恒例のどろんこ運動会が開かれました。当日は梅雨らしい天気が続いた合間の曇り空で、残念ながら例年よりも参加者が少なかったのですが、それでも子どもたちは、始まる前から田んぼの中を走りまわる元気のよさ。綱引きやソリレースと、頭の上から泥だらけになりながらはしゃぎまわり、まわりの大人に泥飛沫をおすそ分け。ドンヨリ空も気にせずに、ドロンコ遊びを楽しんでいました。来年はお天気で、またたくさん子どもたちに参加してもらいたいですね。



▲はしごをくぐりぬけてゴールを目指す障害物競走